

つ・な・ぐ



報告

若者のための夏休みボランティア2025



とにかく暑かった今年の夏...

飲み物とタオルを携え、暑い中、花壇の草取り、ごみ拾いと頑張りました！

その甲斐あって、参加者にはたくさん気づきがあったようです。

ご参加のみなさん、受入団体のみなさん、本当にお疲れ様でした！

7月19日（土）、「夏ボラ」のキックオフとも言えるガイダンスの日、文化会館小ホールには177名の若い世代が集まりました。この日は、参加者と受入団体の方が初めて顔を合わせる日、ボランティア体験がスムーズに行われるよう準備を整える日でもあります。やや緊張した面持ちの中学生もいれば、見覚えのある顔、お馴染さんもいて、会場は大変賑わいました。

ガイダンス翌日実施の「ソーラークーラー工作&実験」を皮切りに32のプログラムが実施され、多くの若い世代が普段、体験できないボランティア活動に参加し、たくさんのことを学びました。

猛暑の中、屋外の公園ボランティアや清掃活動は、特に厳しい活動となり、受入団体は開始時間を早めたり、時間短縮、

作業内容変更など対策を講じ、きめ細かく声をかけ水分補給を促すなど、ご配慮いただきました。

体験終了後の活動日誌（レポート）を見ると「はじめての参加で緊張したけれども体験できて良かった」「団体の人がやさしく接してくれて嬉しかった」「知らないことばかりでとても驚いた」といった感想が寄せられ、どの参加者からも貴重な体験の機会が得られたことへの感謝の気持ちが述べられていました。

事故やケガはもとより熱中症になることもなく無事終了、締めくくりに参加証明書授与式（9月7日開催）を迎えられたことは何よりでした。今回も参加者223人分の気づきがあり、体験が今後の進路や生活に少しでも役立つことを願いつつ、今年の夏ボラは終了しました。



「若者のための夏休みボランティア2025」実施概要

—数字でみる 今年の「夏ボラ」—

- 実施期間：7月20日（日）～8月31日（日）
- 受入団体とプログラム数
26団体／32プログラム
- 参加人数：223名
※のべ235名（9名が複数プログラム参加）
- 参加者の内訳

- 主なプログラムと参加人数
 - ・ 市内清掃活動（20名）
 - ・ ふれあいの森公園ボランティア（18名）
 - ・ 知的障害のある人とバレーボール（17名）
 - ・ 古着回収のお手伝い（15名）
 - ・ parkrunボランティア（14名）
 - ・ あけみあそび広場で小学生と遊ぼう（12名）
 - ・ 「こども食堂」で子どもの遊び相手（12名）
 - ・ マハゼのすみか 境川釣り調査（11名）
 - ・ 公園花壇の手入れをしませんか（10名）
 - ・ 老人ホームのお年寄りとお散歩（9名）
- 屋外プログラム：11 屋内プログラム：17
屋外+屋内プログラム：4



	市内		市外		計
	公立	私立	公立	私立	
中学校	51	0	0	14	65
高等学校	7	90	9	36	142
大学	1		10		11
一般		5			5
計					223名



実施期間中の
熱中症アラート発令日数：24日



「若者のための夏休みボランティア2025」活動レポート

7/22 子育てサロンのお手伝い

“ほこほこin猫実”は子育て支援員をメンバーとする「おやこの広場・ほこほこ」が市内4カ所で運営している子育てサロンの一つです。親子（主に0～3歳）がゆっくり時間を過ごせるこの場所に夏ボラの高校生3名が参加し、手遊びや絵本の読み聞かせにチャレンジしました。

最初は緊張している様子も見られた夏ボラ参加者でしたが、同じ学校の生徒同士の参加ということもあり、時間とともに和らいだ表情に。まずは本の読み聞かせと手遊び歌を受入団体から教えてもらいながら練習しました。サロン参加の親子が集まってからは輪の中に入り、練習した手遊びを披露したり、おもちゃで子どもたちと遊んだり、楽しそうにしている姿が見られました。後半の読み聞かせの時間になるとすっかりリラックスした様子で、自然と笑顔がこぼれ、子供たちとのやりとりを心から楽しみ、サロン終了後の最後の片付けにも積極的に参加していました。参加した親子たちからも「すてきな高校生が来てくれて良かった」と喜ばれていました。

受入団体の横川さんは夏ボラ受入れについて次のように語ってくれました。「日頃、赤ちゃんやママたちと出会う機会の少ない中高生が、直に触れ合う体験を通して、今後、親子が楽しく過ごせる居場所づくり



に興味を持ってくれたり、街で見かけた赤ちゃんや親子を優しい眼差しで見守ってくれるようになれば嬉しく思います。私たちにとっても、中高生との出会いと交流は新鮮で、いつも元気をもらっています」

そして夏ボラ参加者からは「赤ちゃんにもはっきりしたそれぞれの個性があるのを知って感動しました」「普段小さい子と関わることがなかったので貴重な経験ができました。とにかく赤ちゃんが可愛い！」「皆さんで悩み相談や子育てに役立つ情報交換などをしていて、子育て中の親同士が少しずつ助け合っているのが、素敵だなと思いました」との感想が寄せられました。横川さんの思いは夏ボラ参加者にしっかり通じているようでした。

学生たちは夏ボラの活動を通して、新たな発見をし、視野を広げたと思います。自ら行動し、新たな体験することは大切な事だと実感しました。

7/23 老人ホームのお年寄りとお散歩

一般社団法人ガールスカウト千葉県第60団は特別養護老人ホーム「うらやす和楽苑」が浦安市にできた当初から、ここでボランティア活動を行っており、20年来の信頼関係のなか、若者たちにもこの施設でボランティアを体験してもらいたいと受入団体として夏ボラに参加されています。

当日、夏ボラ参加者は施設の方から和楽苑の説明、認知症のこと、車いすの操作、注意点などの説明を聞き、実際に車いすに触れ、座ってみたりし、操作の練習も行いました。その後、お散歩のお年寄りを迎え、公園に向かいますが、道は斜めだったり、側溝があったり。へこんでいるところに注意しながら、お年寄りにも声をかけながら車いすをゆっくり押していました。

この日はとても暑い日、公園の藤棚の木陰に入って、受入団体さんがお年寄りに声をかけている様子を見て、参加者もしゃがんで目線を低くして話しかけ、高校野球の話に盛り上がり、お年寄りが参加者の通う中学の元教員だったとお話になり、皆が笑顔になり、地域、世代を越えて交流することができました。初めは不安そうな参加者達も活動後には「お年寄りとお話して楽しかった」「役に立てて嬉しい」と自信がついているように見えました。

「中高生はまだまだ発展途上ですので、自己表現が下



手な事・まじめな事が照れくさいなどを踏まえて受け入れなければならないと思いました」という受入団体の田中さんの言葉からはおおらかに見守る優しさを感じました。また、「参加者全員が何らかの気づきを持ち帰ってくれた事が嬉しかったです。和楽苑の入居者さん・職員さん・参加者・私たち一期一会ですが、何気ない会話で感じた温かさが皆さんの糧になると信じています」ともお話してくれたことが印象的でした。ここで生まれた交流は参加者の未来に小さな素敵な種をまいていると感じました。

ある参加者は、「家族が車いすを使うようになって大変な思いをしていたから、自分も何か手伝えるかもと思って夏ボラに参加した」と話してくれました。参加者に芽生えた自分から関わる、関わろうという気持ちがいよいよ感じられたこの「夏ボラ」。来年もやってみよう！という言葉が心に響きました。



今年の参加者は223名。多くの若い世代がさまざまな分野の32プログラムに挑戦しました。その中から4つのプログラムの様子をご紹介します。

8/24 知的障害のある人とバレーボール

知的障がいのある人たちにさまざまなスポーツの練習や競技会を提供しているスペシャルオリンピックス。その千葉地区組織に所属する「浦安市バレーボールプログラム」の活動に参加し、夏ボラの学生が障がいのある人たちと一緒にバレーボールを楽しみました。



日の出公民館の体育館でいつものようにバレーボールをするアスリートたち。(スペシャルオリンピックスでは、スポーツ活動に参加する知的障がいのある人たちを”アスリート”と呼んでいます)そのアスリートをサポートする家族やボランティアに混じって、夏ボラの学生たちもバレーボールの練習と試合に参加しました。

全員でストレッチなどの準備体操をした後は、コート周辺の走り込み、サーブやレシーブの練習と続きます。その様子はさながら部活のようです。試合では、初めて参加した学生も、緊張しながらサーブをし、惜しくもラインの外へ。けれどもまわりからは前向きな言葉がかけられ、ふたたびボールに向かっていきます。みんなでボールをつないで得点が入った際には、ハイタッチをして喜びを共有していました。

夏ボラの学生たちにとっては、知的障がいのある人たちと触れ合う機会となり、何か特別なサポートをするというよりは、純粋にバレーボールと一緒に楽しむ

ことで、アスリートたちがスポーツに親しむ場づくりに貢献していました。

参加した夏ボラの学生からは「障がいのある親戚がいるので参加した」「バレーボールは初心者だけどアスリートの皆さんが想像以上にフレンドリーに話しかけてくれて嬉しかった」という声がありました。

浦安市バレーボールプログラム責任者の三井さんは「障がい者と接した経験がないと、彼ら、彼女らに対してどのように接していいかわからないと思う。障がい者と同じチームでバレーボールをした体験によって、今後困っている障がい者と出会った時に、声をかけるなど何か行動を起こすことにつながるとうれしい。ぜひまたボランティアに来てほしい」と語られました。

ボールをつないで相手コートに入れるという目標のもと、障がいの有無に関わらず、チーム1つとなって、お互いに自然と声を掛け合う様子が印象的でした。

8/24 スマイルーフェスのお手伝い

多世代交流の場づくりをしている「NPOスマイラー」主催のスマイルーフェスが開催されました。複数の市民活動団体の出店と多世代の来場者で賑わうフェスに、夏ボラの学生が運営のお手伝いとして参加することで、より多様な世代が交流する機会になりました。



多世代交流を目指し、今年の夏もスマイルーフェスが開催されました。市内で活動している複数の市民活動団体が参加し、小学生の子どもたちが手作り品を販売するチャレンジショップも出店。夏ボラの学生たちは、フェス当日の運営に関わらせてもらいました。

受付にて笑顔で迎えてくれたスタッフの中に、夏ボラの学生を発見。出店ブースでは参加者の子どもたちにゲームのルールを説明したり、景品を渡したりと一生懸命に活動していました。ゲームの1つである“100秒けん玉チャレンジ”では、なんと夏ボラの学生が回数で1位を記録！しっかりと場を盛り上げてくれました。

運営を手伝ってもらった団体からは「期待以上に積極的に動いてくれてとても助かった」「普段は接点が少ない10代～20代の学生との関わりが生まれ、より多様な世代での交流の場になったのが良かった」と感想をいただきました。

参加した夏ボラの学生からは「活動内容が楽しそうだったから参加した」「子どもの来場者も多くてやりがいがあった」「姉妹と一緒にボランティアがしたくて参加した」という声がありました。

NPOスマイラー代表の井崎さんは「世代が異なる人たちが集まることで、違いがあるからこそお互いにとって学びになる。家でも学校でも職場でもない“地域の居場所”があることで心が豊かになる。夏ボラの学生にとっては、受付など運営のお手伝いを通して多世代のいろいろな人たちと触れ合う機会になったと思う」と話してくださいました。

ワークショップやゲームを通して地域で活動する団体の取り組みを知ることができるよう工夫されていて、多世代のスマイルが溢れるフェスでした。

(市民ライター 西橋友理)



うらやすNPOウィーク～市民活動に出会う日 開催します！

毎年、市役所1階の市民ホールにて開催している“NPOウィーク”。環境、国際交流、子育て・高齢者支援、まちづくりなどさまざまな分野で活動中の団体、30団体がそろって展示による活動紹介を行います。また、開催期間中、会場でも動画にて活動をご紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

【展示】

期間：前半：10月16日（木）～21日（火）
後半：10月23日（木）～28日（火）

場所：浦安市役所1階・市民ホール

※前・後半各15団体

【動画】

期間・場所とも展示と同じ

会場では10時から16時まで上映

また、特設サイトでも視聴できます。

参加団体などの詳細については、こちらをご覧ください。



つながプロジェクトを ご活用ください

つながプロジェクトは市民活動団体と地域活動団体・学校・事業者・行政をつなぐプロジェクト。双方の強みや資源を持ち寄り、連携して事業や活動を行うことで、その効果をさらに高め、地域が活性化し、みんなが笑顔にイキイキと暮らせるまちにすることを目指しています。

イベント・ワークショップ開催、講演会・学習会など、さまざまな場面でご利用ください。

詳細はホームページをご覧ください

URL <https://shiminkc.wixsite.com/tsunagu-project>



まちづくり講座のご案内 「江戸前ハゼが語る海辺の環境 ～私たちの暮らしとSDGs」



海辺の環境保全活動に取り組み、マハゼの調査活動（江戸前ハゼ復活プロジェクト）を行っている、ハゼ博士こと海辺つくり研究会の古川恵太さんをお招きします。三方を水辺に囲まれた浦安にとって海辺の保全は身近な課題。活動から見える私たちの暮らしとの関わりについてもお話しいたします。

※昨年、都合により中止となった講座を、あらためて開催するものです。

■日時：10月4日（土）14時～16時

■場所：うらやす市民大学・講義室1
（まちづくり活動プラザ3階 浦安市入船5-45-1）

■講師：海辺つくり研究会
理事長 古川恵太さん

■定員：40名（先着順）

■申込：センターまで 直接、TEL、FAX、
Eメールにて

団体応援ミニ講座のご案内

みなさんの活動をサポートするためにさまざまな個別ミニ講座を開催しています。「新しいリーフレットを作りたい」、「もっとSNSを活用したい」など団体のみなさんの声に対応します。ぜひご利用ください。

講座内容：センターホームページの活用法
ポスター・チラシ・リーフレット作成
動画作成
パワーポイント作成
Canva活用講座
その他、何でもご相談ください

実施方法：個別対応
日時はお申し込み時に調整
※1回90分まで

申 込：電話、Eメールにて
センターまで



センター日誌より

最近の団体応援ミニ講座は、Canvaを使ってのチラシ作成やXの立ち上げに関すること、Instagramについてなど、デジタル中心。対応にあたるのは、半年前、センタースタッフの仲間入りした新人さん。団体さんも初めてのことに四苦八苦しながらも、新人スタッフに教わりながら、一所懸命パソコンに向かっていきます。出来上がったチラシを見ては、ニッコリ。新しいことを習得する充実感に気分も上々、笑顔あふれる瞬間となります。こんな場面に立ち会えて新人スタッフも嬉しそう！ スタッフ冥利に尽きますね。



問い合わせ・申込みは
市民活動センターまで

発行：浦安市市民活動センター
2025年9月15日（年3回発行）

〒279-8501千葉県浦安市猫実1-1-1(市庁舎10階)

TEL: 047-305-1721 FAX: 047-305-1722

E-mail: shiminkc@jcom.home.ne.jp

URL <https://u-shimin.genki365.net>

